

セルフモニタリング報告書(令和元年度分)

令和2年4月30日

施設名 苫小牧市呼吸器内科クリニック
 指定管理者名 一般財団法人ハスカッププラザ
 所管課名 健康支援課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画の内容に伴い管理運営を行っている	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	患者の待ち時間及び動線等を明確にし、利用者には不便がないよう努めている	Ⓐ・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。		A・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	医療関係機関・併設されている社会福祉事業団と協議・連携を取っている。	Ⓐ・B・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	患者に不快な思いをさせないよう注意し運営を行っている。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	定期的に、事務部門・看護部門・全体会議を行い意見・要望について情報の共有を行っている。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	上記連絡会等で協議検討を行い、対応している。	Ⓐ・B・C・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	空調等をこまめに調節し節約している。	Ⓐ・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	委託業者の選定や見積合わせ等を行い、経費が最小になるように努めている。	Ⓐ・B・C・D・E

収入増加のための取組はされているか。	細かい検査等を実施し患者離れが起らないよう親切に対応している。	Ⓐ・B・C・D・E
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	適正配置を行っている。	Ⓐ・B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	学術大会等への参加や、看護師、事務職員の接遇研修を行っている	Ⓐ・B・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。		A・B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われているか。	電子錠の付いた保管室及び保管庫を設け漏洩に注意し管理している	Ⓐ・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	税理士と顧問契約を締結し適正に処理を行っている。	Ⓐ・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	各種点検業者により都度点検済み	Ⓐ・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	備品保管庫及び書庫等にて保管し対応している	Ⓐ・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	ハスカッププラザと合同でリスクマネージメント委員会を定期的を開催し、ヒヤリハット、インシデント等について話し合い対策を考えている	Ⓐ・B・C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	協定書等を作成し管理している	Ⓐ・B・C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地元業者等を利用して地域貢献に努めている	Ⓐ・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

指定管理者の自己評価(全体を通して)

- ・クリニック内の事務所及び患者が利用しない場所については午前午後に関わらず消灯を実施して節電等、経費削減に積極的に取り組んでいる。
- ・再利用が可能な物については、無駄なく利用するよう取り組んでいる（印刷等のムダを抑えるため）
- ・患者様が快適に利用出来るよう、小さな問題についても検討を行い、利用率やリピーターを増加するよう日々努力を行っている。
- ・今までは患者都合の来院待ち状態だったのを、次回診察予定日を明確に示し、患者の通院に対する意識を高めることに努めている。
- ・医療の質の低下を避ける為、最新の医療機器を使用し迅速な疾病発見を心がけている。
- ・禁煙外来を実施・継続することにより、精神面での禁煙支援などを行い、受動喫煙の減少などに微力ながら貢献できるよう努めている。
- ・喘息と診断された患者に対し、日常生活を過ごす中で必要な情報等が記載されているパンフレットを手渡し、正確に症状と向き合っていただくよう努めている。
- ・マスク自販機を設置し、病院内での感染拡大防止に努める。
- ・禁煙外来の初診予約をインターネットで可能にし、希望者が利用しやすいように努めた。
- ・呼吸器に特化する診療だけでなく、内科系疾患も受診が可能なことを苦小牧市民に理解して貰うよう、メディア等を利用し周知を行い、更なる患者増に繋がるよう努めている。
- ・CPAPの契約先を増やし、新規患者が幅広く利用出来るよう努めている。
- ・インフルエンザ流行に対応するために（患者の待ち時間短縮）、検査機器を増台し待ち時間の緩和に努めた。